

# にじのかけはし

令和5年1月  
第13号  
上海日本人学校虹橋校  
片桐 里香

## 新年好！



希望が丘小学校のみなさん あけましておめでとうございます

2023年が始まりました。どんな新年を迎えましたか？きっとさらにいい年にするぞ！と気持ちも新たに張り切っているのではないかと思います。そんなみなさんの姿が目には浮かびます。新しい年のめあてを決め、そのゴールに向かって素晴らしいスタートを切ったことでしょう。今年一年も健康に気を付けて元気に過ごしてほしいと願っています。

報道などでも伝えられていると思いますが、上海の年末はとても大変でした。学校もオンライン授業となりました。年明けも少しだけオンライン授業でしたが、今は通常通りの学校生活を送ることができています。それだけで幸せ。みんなが学校にいて、とってもステキなことですね。

さて、今回のおたよりは、上海のお正月の風景を紹介します。

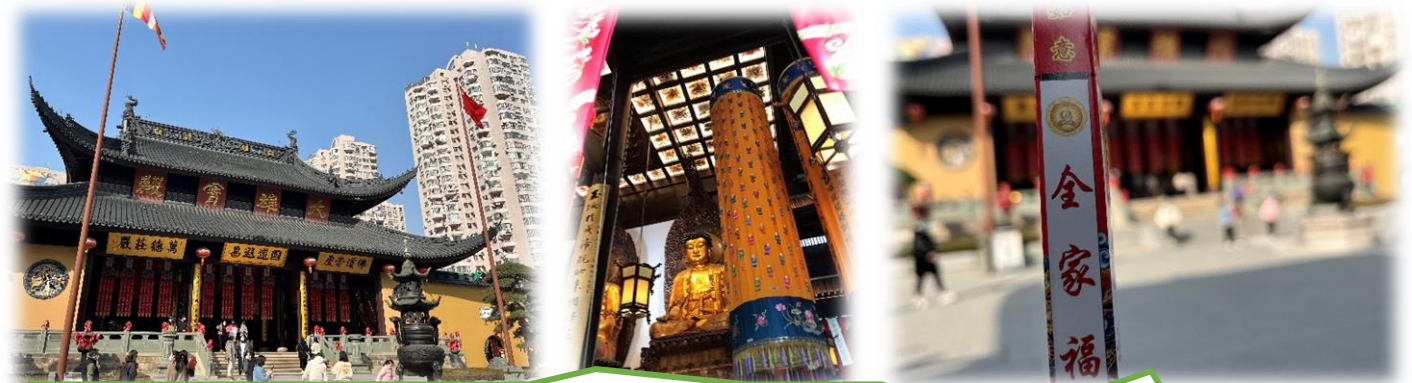


# 上海風新年の過ごし方

中国の1月1日は、「新年」ではありますが、お正月のお祝いムードはあまりありません。昨年も紹介しましたが、中国では旧正月＝春節を祝う文化だからです。旧正月とは、農歴（お月様カレンダー）の1月1日に当たります。毎年変わりますが、今年は1月21日が大晦日、1月22日が元旦です。

では、1月1日は祝わないのか？…そうですね、お祝いムード、という感じではあまりありません。一応、学校や会社は休みになります。爆竹も鳴っていました。でも、旧正月ほどではありません。どちらかというと、西暦1月1日が来ると、いよいよこれから旧正月の準備をするぞ！と街全体がソワソワし始めます。今まできれいに飾られていたクリスマスツリーは、いつの間にか真っ赤な飾りに代わり、市場には旧正月に食べる食材がずらりと並びます。干し肉や干し魚など、店によっては天井からこれでもか！というくらいつるされています。このような街の空気を感じると、ああ、いよいよ春節だな、もうすぐ春が来るんだな、と思います。

さて、日本ではお正月に初詣に行く人も多いですよね。私も上海で初詣に行ってきました。もちろん、上海にもいくつか大きなお寺があります。その一つ、「玉仏寺」（ゆいふおすー）に行ってきました。このお寺には、以前上海にいた時から何回も来ています。



建物も仏像もとってもきらびやかな「玉佛寺」。飾りもとってもきれい！

「全家福」のお線香

どうですか？上海のお寺は、なかなかきらびやかでしょう？日本のお寺は厳かな感じがしますが、上海のお寺は、派手！仏像もピッカピカです。ちょっとビックリします。周りの飾りも原色が使われていて、まばゆいばかりです。その中でも黄色が使われることが多いようです。中国で黄色は、位の高い人だけが身に付けられる色。かの昔は、皇帝しか身に付けられない色だったそうです。お寺もお坊さんの服（袈裟といいますね）は黄色。お寺が、人々にとってとても大切な場所であることが分かります。

お寺の中では、一生けん命お参りをしている人たちがたくさんいました。私も、「全家福」＝みんなに福が来ますようにという願いを込めてお参りをしましたよ。お参りの仕方は日本と少し違います。本当のやり方はよくわからないので、周りの人たちのやり方を見よう見まねでお参りしてきたのですが（笑）、みんなが幸せになりますように、とお願いをする人々の心はどの国にいても同じなんだな、と思いました。

今年は兎年。豫園という観光名所では、毎年、旧正月に合わせて夜灯会（ライトアップ）が行われます。とっても躍動的なカッコいいさぎにビックリしました。観光名所だけではなく、マンションの入口にも赤い提灯や爆竹の飾りなどが飾られ、いよいよお正月がやってきます。今年も上海のお正月を楽しみたいと思います。

それでは、また。再見！

